

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-0501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； <https://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 別館 1 F 会議室； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12： 00； 例会： 12： 30-13： 30；



持続可能なインパクトを生み出そう

2026 年 10 月 6 日(火)第 1844 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所別館 1 F 会議室

開始： 12： 30 終了： 13： 30

例会進行： 沖 俊成 副 S A A

点鐘：

会長 柴田友美



ソング： 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー：

藤野恵子会員

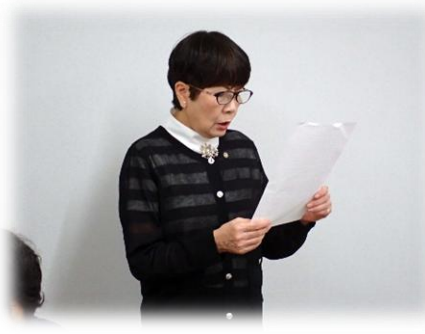


会 長 挨拶

柴田友美 会長

今日 10 月 6
日は国際協力
の日です。

外務省と独立
行政法人・国際
協力事業団



(JICA) が 1987 年 (昭和 62 年) に制定されま

した。それよりさか上る 1954 年 (昭和 29 年) のこの日、日本が初めて国際協力の援助国として、国際組織「コロンボ・プラン」(Colombo Plan) に加盟し、翌 1955 年 (昭和 30 年) から研修員の受入れや専門家の派遣などの技術協力を開始しました。これが日本における政府開発援助 (ODA) の開始とも言われています。

私も JICA を支える協力隊を育てる会のメンバーではありますが、近年三重県では活動は低迷しています。活動が盛んであった 10 年前は JICA 調査隊メンバーとしてベトナム日本法人企業や国営放送局、在日本大使館など多数を訪問させていただき大変良い経験となりました。

さて、ロータリーでの **10 月の国際テーマ**は「**地域社会の経済発展月間**」です。

地域社会における貧困の削減と、持続可能な経済発展を支援することに焦点を当てます。具体的には、地域住民の職業訓練、小規模事業主への少額融資、地域の資源を活用した起業家育成プロジェクトなどが挙げられます。この国際テーマである「地域社会の経済発展月間」と並行して、10 月は日本独自のテーマであります米山月間 (10 月) でもあります。これは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業を支援するための月間です。米山記念奨学会は、日本で学ぶ外

国人留学生に奨学金を支給し、将来母国と日本の架け橋となる人材を育成しています。本日は米山奨学生のビカス君の卓話がありますのでお楽しみください。

そして10月24日は世界ポリオデーです。RIの説明ですとポリオ（または急性灰白髄炎）は、主に5歳未満の子どもが罹患（りかん）しやすく、身体のマヒや、時には死にいたることもある感染性疾患で通常、汚染された水を介して感染し、人から人へと伝播（でんぱ）し神経系を攻撃します。

ロータリーは45年以上にわたり、ポリオの根絶に取り組み、ポリオを世界からなくすという私たちの目標は、これまで以上に達成に近づいています。

ロータリーが最初に実施したポリオ関連のプロジェクトは、1979年にフィリピンで行った子どもたちへの予防接種でした。この予防接種キャンペーンの成功に後押しされ、ロータリーはその後**世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）**の創設パートナーとなってポリオの症例数を99.9パーセント削減しました。

ロータリー会員による寛大な支援とコミットメントにより、ロータリーは今日までにポリオプラス基金に29億米ドル以上を寄付しただけでなく、122カ国、30億人の子どもにワクチンを投与する活動にボランティアとして参加してきました。また、アドボカシーを通じて各国政府からの110億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担ってきました。※**アドボカシーとは社会的な立場の弱い子どもや高齢者、貧困地域に住む人々に代わって、個人の権利を主張し支援する活動などを意味します。**

今日、ポリオの常在国はアフガニスタンとパキスタンのみとなっていますが、そのほかの国でもポリオのない状態を維持していくことが極めて重要です。ポリオ根絶活動を今やめしてしまうと、10年間のうちに、毎年20万人の子どもがポリオによって身体のマヒを患うことになるかと予測されています。よって引き続きの活動が必要です。私の同級生に感染した女性がいます。何とお医者さんのお子さんですが、足の麻痺は今もあり、先日8年ぶりに食事をしましたが、いかに大変な病気であるかと改めて認識しました。

最後にネパール洪水支援募金を開始いたしますのでご協力をよろしくお願いいたします。
では、本日もよろしくお願いいたします。

本日の行事

*10月度 米山奨学金の贈呈



幹事報告

小林英将 幹事



1. 鈴鹿・亀山グループ各ロータリークラブ例会
変更のお知らせ

鈴鹿RC：2026年10月28日（水）→10月
31日（土）地区大会参加例会ため
ココロかさなるCCNセンター

亀山RC：2026年10月5日（月）会場都合
のためロータリー事務所
10月12日（月）法定休日
10月19日（月）会場都合のためロータ
リー事務所
10月26日（月）⇒ 30日（金）地区大
会参加のため大垣フォーラムホテル

2. 第5回理事・役員会決議報告

【理事数：8名】

出席：柴田 江藤 沖 伊藤（義）小林
藤野（6名）

欠席：森（喜）伊藤（雅）（2名）

【オブザーバー】出席：服部（1名）

第1号議案： 10月度プログラムの確認お
よび11月度のプログラムについて

●承認

第2号案：親睦グループ（同好会）の設置に
ついて

●ニコニコクラブは承認されました。

第3号議案：次年度合同例会・IMについ
て

●IM実行委員会の組織は承認されました。

●IMについては継続して話し合う。

第4号議案：その他

1.10/27（火）親睦・家族例会について

●承認

2.旗用付属品の支払いについて（3点合計
¥58,300） ●承認

3.2027-28年度委員会構成について

●委員は兼務できる状況に変更する。

4.10月（第6回）理事・役員会開催日につい
て ●10月20日に変更する。

5.ネパール大規模洪水支援募金活動について
●承認されました。

3. 2026-27 ロータリー米山記念奨学事業
豆辞典を配付してございます。

4. 10月ロータリーレートは1ドル157円で
す。

5. 10月20日（火）深谷公園例会終了後、第
6回理事・役員会を開催いたします。
理事・役員はご予定ください。場所は後日
連絡いたします。

委員会報告

*10月度諸事お祝い

森 豊 親睦・家族委員長

【会員誕生日】 鈴木英夫会員

*ロータリーの友10月号紹介

江藤隆仁 クラブ広報委員

出席報告

沖 俊成 出席委員長

正会員19名中 9名出席 出席率 60.00%

ニコニコボックス報告

森 豊 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

柴田友美：10月になりました。良い季節ですね。

本日はビカス君、卓話よろしくお願いします。

小林英将：ティルワ・ビカスさんようこそ。

プログラム楽しみにしています。

野間芳実：ティルワ・ビカス君を歓迎して。

沖 俊成：ビカスさん、頑張って下さい。

森 豊：なかなか出席出来ずにすみません。

ティルワ・ビカスさん本日よろしくお願いします。

本日のプログラム

「米山月間にちなんで」

2026 年度ロータリー米山記念奨学生

ティルワ・ビカス様



自己紹介

- ティルワ・ビカス
- ネパール出身
- 家族 7人
- 趣味：アニメ鑑賞・音楽
- 四日市大学。
- 環境情報学部。環境情報学科
- AIゼミ

ネパールと生まれた場所

- ネパールは中国（北）と インド（東、西、南）の真ん中に配置しております。
- カイラリ (kailali) はネパールの西南に配置しており、生まれた場所からインド行くには40分ぐらいかかります。



留学までの道のり

- 2019年 ネパールで高校卒業
- 日本語学校で日本語学習開始
- コロナ禍により留学延期
- それでも自宅で学習を継続
- 日本のアニメを見たり、文法の復習をしたりしました。
- そのおかげで 忍耐力と継続力を身につけました

日本での新しい始まり

- 日本に来日
- 日本語学校を1年で卒業
- JLPT N3合格

多文化環境の中で多くのことを学びました。日本に来て学業だけではなく時間の大切さ社会人としての一般的なマナーも学びました。

四日市大学での成長

- オープンキャンパス参加後、入学
- 留学生新聞クラブ 副編集長
- ボランティア活動や大学のイベントに参加
- 大学3年前期 JLPT N1合格

現在の研究 (AIゼミ)

- ごみ分別モデル
- 市ごとに異なる分別ルール
- AIを活用し正確な分別を支援
- 環境問題解決への貢献を目指す

奨学金への感謝

- このような貴重な奨学金に心より感謝申し上げます。
- この奨学金は経済的支援だけでなく、精神的な支えとなっています。
- 勉強や研究により集中できる環境をいただいております。
- 将来は日本とネパールの架け橋となり、恩返ししたいと考えております。
- 与えられる側ではなく誰かに与える側になりたいと考えております。

将来の目標・結び

- 日本で就職し社会に貢献
 - 日本とネパールをつなぐ架け橋になる
 - 支えられる側から支える側へ
- 改めまして、温かいご支援に心より感謝申し上げます。

2025-26 年度地区奨学金補助金奨学生

宮里倫史様 9 月度近況報告

大変お世話になっております。2026 年 9 月の活動についてご報告させていただきます。

今月から秋学期が始まりました。今月は 10 月のコンクールに向けて、いくつかの授業と卒業論文の準備を行いながら、練習に集中した月となりました。授業に関しては、音楽理論の実践的な授業と、レッスンが主で、卒業論文に関しては、

数か月かけてほぼ下地が完成し、あとは内容を講師とともに推敲する段階にまで仕上げる事ができました。

来月はジョージア、トビリシでの国際コンクールがあります。正直に申し上げますと、手の故障の再発や情けないことに体調不良もあり、準備に関しては理想的とは言えないのですが、ほとんど最後の機会ですし、貴重な体験として、その中でも全力で向き合ってまいりたいと思っております。

会報発行担当：伊藤義一